



たきばな

一般社団法人
日本ボーイスカウト
静岡県連盟

〒420-0068
静岡市葵区田町1丁目70-1
(静岡県青少年会館内)

第24回世界ジャンボリー 新世界の扉を開こう!!



CONTENTS

第24回 世界スカウトジャンボリー 2 ・アメリカ合衆国ウエストバージニア州	いつも元気だっ! ビーバーだより 9
今年もやったゾ! 防災キャラバン2019 4 ・イオンモール浜松志都呂店	カブつうしん 9
第53回 全日本高等学校馬術競技大会 開会式奉仕 6 ・御殿場市馬術スポーツセンター	ボーイ通信 11
第2回 遠州特別野営に参加して 7	指導者だより 13
第3回 若き指導者 8 ・沼駿地区 長泉第2団 カブ隊副長 高田 直哉	おめでとう友情章 14
	マスコミ コーナー 15
	お知らせコーナー 16

令和元年 10月
第157号



第24回

世界スカウトジャンボリー

期 間: 7月22日(月)~8月2日(金)

場 所: アメリカ合衆国ウエストバージニア州



副 長 南條順子(静岡第27団)

副 長 脇坂英子(清水第19団)

隊 付 島崎陸巳(浜松第12団)

ためき班班長 村上和輝(浜松第12団)

うなぎ班班長 井出己尋(富士宮第9団)

ポッポ班班長 杉山未翔(浜松第15団)



文化フェスティバルパフォーマンス

副長 南條 順子(静岡第27団)

初めての世界ジャンボリー、不安のほうが期待を上回っていました。しかし会場でサイトに戻ったスカウトたちの楽しそうな表情や海外スカウトたちとの交流の様子を見るにつれ、彼らとともに何物にも代え難い時間を過ごしている充実感が芽生えてきました。どの顔も本当に楽しそうで羨ましい！同じスカウトというだけで信頼し、お互いを理解し合おうとする場面を見ることが出来ました。今後ひとりでも多くのスカウトにジャンボリーの主役として、この時間を体験してほしいと彼らの笑顔を見て思いました。

副長 脇坂 英子(清水第19団)

私が初めてWSJの指導者として奉仕をしたのは、第22回スウェーデン大会。海外のスカウト達はなんて自由なのだろう、制服の着方も普段の服装も生活の様子も。アリーナショーへ向かう行進も、歌を歌い音楽を鳴らしお祭り気分で歩いていく。日本の大会を経て次はアメリカと聞き期待に胸が膨らみました。そして今回経験した世界ジャンボリー、楽しかった！アメリカのエンタテインメントの凄さ、キャンプ場の広大さ、そしてジャンボリーを大いに楽しんでいる外国スカウト達。日本のスカウト達も十分に雰囲気味わったと思います。



カナダ隊交歓会



スカウトタウン



サイトにて

隊付 島崎 睦巳(浜松第12団)

毎日アクティビティやイベントに参加したり、交流をしたりするうちにジャンボリーはあっという間に終わってしまいました。アメリカの食事や建物の作りなども慣れないことばかりで初めは心配になりましたが、いつの間にかすっかり慣れてしまいました。そしてジャンボリーを終え、何もないテントを前にした時には引っ越しをするようで寂しかったです。再びスタッフとしてWSJに参加し後輩スカウトがこのような経験を助けてくれる手伝いが出来たらと思います。

ポツポ班班長 杉山 未翔(浜松第15団)

今回の大会で国や人種も関係なく、いつでもどこでもだれとでも和気あいあいと盛り上がり、皆が家族のように過ごした12日間は、何にも代えがたい素晴らしいことをたくさん学ばせてくれました。この経験は、きっとこれからの生活をより良い方向へ導いてくれるだろうと思います。

うなぎ班班長 井出 己尋(富士宮第9団)

今回班長という立場で臨んだ世界ジャンボリーでは多くの学びを得られたことに加え、自身の世界観が広がったことを強く実感しております。プログラムでは班員と共に様々なアクティビティに挑戦したことで自身の可能性を見出したり、交流会や文化フェスティバルでは多くの国々の文化を体験したり、ゲームや歌を通じて言語の壁を超えた交流をしたり、自身の固定観念を打ち砕かれるような衝撃を受けてばかりの毎日でした。大会が終わった瞬間、「またジャンボリーに参加したい!」と心から思いました。



ジップライン

ためき班班長 村上 和輝(浜松第12団)

自分は世界ジャンボリーの中で班長を勤めました。今回は自団のスカウトだけでなくいろいろなところから来ているために、統制を取っていくのが非常に難しかったです。その中でよく「パトローリング」という言葉が出て来たのが印象に残っています。班員の個性をどう班の中に生かすかが大事なことだと気付くことができました。



マウントジャック・キャンプファイア

今年もやったゾ! 防災キャラバン2019

日 時:7月21日(日) 場 所:イオンモール浜松志都呂店

防災キャラバン副実行委員長 稲野 吉弘

今や日本は未曾有の自然災害列島となっています。

頻発する地震、巨大化する台風、大雨による洪水や土砂災害と私たちの日常生活を直撃することばかりです。“自分の身を守る”“もしもの時”に役に立つよう防災意識を高め、そなえなければなりません。今年も地域に貢献するイオンモールと、よりよい社会をつくるボーイスカウトが協働で展開しました。全国70か所、基本開催ツールを持ち回し、イオンモール会場で多くの方に防災をアピール! 県西部浜松ではイオンモール志都呂会場、ボーイスカウト浜松連合協議会(浜松地区と浜松東地区)の企画として展開しました。

●各コーナー / キャプション

《ブロック塀積み上げ》スチロール性ブロック積み上げで、物や壁が倒れる時の感覚を安全に学ぶことができます。

《防災グッズづくり》新聞紙など利用して簡易な履物づくり、飲み物用おわんづくりなど、身の回りの物をクラフトしました

《防災キムスゲーム》もしものに備える防災アイテム持ち出しゲーム、持ち出し用品説明も行いました。

《ビニール袋で簡単応急救護》レジ袋を利用したの手や足などの支えを学びました。

《ボーイスカウト紹介》23WSJDVDマルチ画面上映、活動写真展示掲載、ボーイスカウトクイズを行いました。

今回の開催にあたり、事前に16社へニュースリリースを出したことでTV局1社取材、新聞掲載1社、ケーブルTV告知など地域へ情報を発信できました。

当日の来場数は例年と比べると少なかったのですが、日常化している災害列島ではますます防災意識は必要になることは必至です、我々も心して備えたいものです。





我ら、ユースチーム静岡！

ユースチーム議長 宮路 飛鳥



今回ユースチーム静岡初となるユース年代交流企画の『U35交流会』を開催しました。

この交流会ではユースチーム静岡の活動を広く知ってもらうためユース年代のローバースカウトおよび指導者の交流の場を設け、ユースチームメンバーを増やし、今後の活動をより発展させることを目的として行いました。

今回は初交流企画でしたが、25歳以上の若手指導者の方や静岡在住の他県連の方など幅広い参加者が申し込みをしてくださり、有意義な交流会ができました。

交流会の内容はまず、今までの静岡ベンチャーキャンプや全国大会への参加、県連行事での奉仕などの活動を紹介し、これからの企画の展望を中心に話をさせていただきました。また、今後の活動がより魅力的なものになるように、参加者とユースメンバーで無人島キャンプやカヌーなどやってみたい企画のニーズを出し合いながら交流を深めました。

最後になりますが、今後も議長として県ユースチームを盛り上げていきます。本年度からユースチームへ加入できる対象年齢が18歳から35歳までに幅が広がりました。現役ローバースカウトだけでなく、35歳までの現役指導者のみなさんも是非ユースチームに加入をして、一緒に若手の活動を盛り上げていきましょう！



第53回全日本高等学校馬術競技大会 開会式奉仕

日付：7月24日(水) 場所：御殿場市馬術スポーツセンター
御殿場小山地区事務長 濱田 敏彦



去る7月24日、御殿場市の馬術スポーツセンターにおいて、秋篠宮佳子内親王殿下に御臨席を賜り、第53回全日本高等学校馬術競技大会が開催されました。

東部地区のボーイスカウト・ベンチャースカウト並びにガールスカウトの代表36名による開会式のプラカード持ち、当日の朝、集まってくれた50名の中から36名を選出し、リハーサルを行ったが今一つ何か足りない。そこで、県コミッショナーからプラカー

ドの持ち方や歩き方を指導され、再度リハーサル、最初は何だったのか見違えた歩き方に変貌しました。

開会式会場及び観客席にも警備の関係でリーダーは一切入れず見学もできない中、心配をよそにスカウトたちは元気に行進し、大会関係者から『大変良かった。』の言葉をかけてもらい、また最後には大会会長からもお褒めの言葉を頂きました。



第2回 「遠州特別野営」 日付:8月11日(日)~16日(金)



磐田地区 磐田第3団ベンチャー隊 太田 志穂

今回、ベンチャースカウト兼上級班長という形での参加になりました。その両立がとても大変でした。また、集合をかける際も自分の経験不足により様々な指摘を受けとても身になりました。台風の接近による悪天候の中、あれだけのまとまった行動がとれたのも参加した指導者やボーイのおかげだと思います。多くの指摘を受け、とても成長につながったと感じました。ボーイやベンチャーの仲間達と楽しむことが出来たことはとても良い思い出になりました。指導して下さいましたリーダーの方々、満身創痍ついてきてくれたボーイ、楽しませてくれたベンチャーの仲間、本当にありがとうございました。とても愉快的な六日間でした。

掛川・袋井地区 掛川第2団ボーイ隊 村松 直幸

今回一番心に残った行事は、隊ごとのイカダ製作です。そもそもイカダ、自分たちで本当に製作できるのだろうかと思いました。実際なんとか夏季キャンプまでに形は出来たもののこれで本当に浮かぶのか？と思いました。本番では事前に用意した材料を切ったり縛ったり、がんばって作りました。結果、出来たイカダは浮力バッチリのすごいイカダになりました。みんなと乗れてとても楽しいイカダ作りでした。

島田地区 金谷第1団ボーイ隊 鈴木 琉空

今回のキャンプ、大きい荷物と小さい荷物を持ちたくさん歩いてとても大変でした。やっとの思いで着いたところは草がボーボー、みんなで協力してテントを立てフライも立て、休むひまもなく配給の時間になりすぐにご飯をたくことになりました。頼れるけんくんと班長は熱中症になってしまい、なかなかカレーが作れませんでした。また班長が風邪でいなくなった時は自分が班長の仕事をやらなければいけなく、慌ただしいキャンプになりました。でも班長という任務が出来、良い経験をしたと思いました。

浜松地区 浜松第1団ボーイ隊 前田 悠花

楽しかったことは、イカダとカヌーに乗ったことです。海でカヌーに乗るのは初めてでした。風の具合で変な方向へ行ってしまうかもしれませんが楽しかったです。イカダは試走のときから来ており、出来たものに乗れてすごく嬉しかったです。50mロープの命綱が張るまで遠くへ行ったのが一番楽しかったです。また『夜の人狼ゲーム』も楽しかったです。磐田3団のファルコン班におじゃまして消灯時間まで人狼をしたりしゃべったりしていました。仲間が鉈で手をけがして帰ったのは気の毒でした。けがをしていなかったらもっと楽しめたと思います。

第3回「若き指導者」



長泉第2団カブ隊副長
高田 直哉



「大学ローバー」これが私の指導者の原点だと思っています。東京で過ごした大学生時代、通っていた大学に「ローバースカウト部」(ローバー隊)があり、世田谷地区(当時)で活動していました。担当のローバー部門担当コミッショナーには、区民祭りの奉仕やカブ・ビーバーのラリー奉仕、日韓スカウトフォーラムや今は無き山中野営場での6NV奉仕など様々な活動の機会を与您にいただき大変感謝しております。また東京連盟ローバー恒例の「100kmハイク」には企画運営部分に携わることができ、他地区のスカウトとの交流を深める絶好の機会となりました。大学生になったと同時に地元を離れ、そのままスカウティングから離れてしまうパターンが多い中、こうした経験、仲間づくりができたことは非常に恵まれていたと感じています。

今年はカブスカウト隊副長一年目ということで、春のスカウトコースに初めて参加をさせていただきました。そこでは学習意欲に満ちた班の仲間、そして、いつも明るく熱心に指導をしてくださった芹沢班担当所員など素晴らしい仲間との出会いがまわっていました。一緒に研修を進めていくにつれて、これからも頑張ろう!という気持ちが徐々に高まってきました。

長泉第2団には10名のカブスカウトが在籍しています。スカウト一人一人にしっかりと向き合い、スカウトの笑顔が絶えることのない、そんな活動ができるように指導者の一員として今後も活動できればと思います。





いつも元気だ! ビーバーだより

たのしいさわのぼり

掛川・袋井地区 掛川第2団 ビーバー隊 いけ田たける



かけ川のビーバーでさわのぼりをしました。さわには、大きいかにがいました。

さわをのぼっていくと、ふかいところがいっぱいありました。いちばんふかかったところは、ぼくのあごのあたりまで水があって、じゃんぷしてあそびました。さわのぼりができてうれしかったです。

かけ川のおともだちもたくさんできてうれしいです。

ホテルのかんしょう会

沼駿地区 沼津第4団 ビーバー隊 ひらお よはん

今年も6月に、ビーバーたいのなかまと、ぬまづのあしたかこういきこう園に、ホテルの光を見に行きました。

さいしょに、ホテルほぞん会の人たちが、ホテルのせつめいとクイズをしてくれました。

そして、もってきたかいちゅう電とうに、赤いセロファンをつけました。ホテルは、強い光があたると光らないからです。ホテルがびっくりしないように、そのかいちゅう電とうを下にむけて、大きな声を出さないように気をつけながら、みんなでさがしました。はじめはぜんぜん見つからなかったけどまわりがまっくらになってくると、小さな光の点が見えてきました。砂のつぶより小さくてやさしい光でした。



自分でも1びき見つけられたので、うれしかったです。

夜のホテルさがしは、たからさがしみたいでたのしかったです。来年も行きたいです。

たいしゅう会のたのしいおもいで

清水地区 清水第19団 ビーバー隊 大槻 和叶

さいしょにあそんだのは川あそびです。

あめとクイズのはいったさがすたからさがしをしました。たからさがしをおわったときにかにを八びきもつかまえました。魚もつかまえようとしたけれどすぐににげてしまってもなしかったです。

そのあとアイスクリームをつくりました。つくるざいりょうは、ぎゅうにゅうとなまクリームとたまごのきみとバニラエッセンスとさとうです。まずボウルにじゅんぱんにいれてさいごにバニラエッセンスをいれてかきま



ぜました。それをアルミカンに入れてふたをし、こおりとしおをいれたペットボトルの中にアルミカンをいれて10分ふりました。そのあとようきにうつしてたべました。つめたくてとてもおいしかったです。

どうぶつえんへいったよ

富士地区 富士第4団 ビーバー隊 遠藤 惺七

ぼくは、この前ボーイスカウトのみんなと、とうめいバスで日本平どうぶつえんにいきました。ドキドキワクワクしながらバスにのり、どうぶつえんにむかいました。

どうぶつえんにつき、いろいろなどうぶつを見ました。それから、ふれあいコーナーに行き、モルモットやうさぎをさわりました。ぼくは、いま

までこわくてさわれなかったけど、みんなといっしょだったからさわれるようになってうれしかったです。そのあと、みんなでおにぎりをたべました。みんなでいろんなはなしをして、わらってとても楽しい一日でした。



また、ビーバー隊でいきたいです。



カブつうしん CUB SCOUT

釣り体験

掛川・袋井地区 掛川第2団 カブ隊1組 組長 若槻 拓哉

つりはとても大変でした。魚がかかったかどうかよく分からないし、長い間待っているのも大変でした。ぼくは糸がからまったりして、何度も直してもらいました。結局、ぼくがとれたのは、食べられないフグ1匹だけでした。

1組と2組でどっちの方が多くつれるかの勝負をしていたのですが、4対1で1組が勝ちました。ぼくは1組だったので勝つことができて、うれしかったです。またつりをしたいです。

掛川・袋井地区 掛川第2団 カブ隊2組 組長 岡本 拓己

ぼくがつりで、一番思い出に残ったのは、つり糸にエサをつけることです。もちろん、投げするのも楽しみでしたが、つりで生きている物をつけるのは初めてだったので、ドキドキしました。さわってみると、ぬるぬるしていてすぐ

気持ちわるかったです。そのエサに針をさすとき、モヨモヨと動くので、とてもこわかったけど勇気を出してさしました。何度もやっていくうちになれてはきたけど、やっぱり気持ちがわるかったです。

結果は一匹もつれなかったけど、楽しかったです。自分で魚をつることのむずかしさを知りました。次は絶対につりたいです。



本願寺派スカウトキャンプリー

三島地区 大仁第 1 団 カブ隊 山崎 一乃

私が、カブ隊の活動で、一番楽しかった事は、第 7 回本願寺派スカウトキャンプリーでした。その中でも、三島市内を歩く、川沿いを歩くせせらぎハイクが楽しかったです。川まで歩く時に、副長が、「川に、落ちている固くてきれいな石をみがいとくと、宝石みたいになるよ!」と、言われたので、川に着いたら、みんなと一緒にたくさんのきれいな石を探しました。たくさん取りました。楽しすぎて、「終わりだよ。」と、言われたときは、まだまだ遊んでいたいと、とてもさみしくなりました。けれど気を取り直してまた歩き出しました。

その次の、目的地まで思ったよりも遠かったです。だんだんつかれがたまって、足がもつれてきました。でも、みんなは「つかれたよ」「もう歩けない」とか言っても、がんばって歩いていました。私も（みんなは頑張ってるんだ。私だって負けないんだ。）と、言う気持ちになりました。この経験から、あきらめない事とやるべきことは最後までしっかりやる事の大切さを、学びました。

8月のカブキャンプ

島田地区 金谷第 3 団 カブ隊 鴨嶋陽友路

8 月 10 日から 12 日まで川根本町にキャンプに行ってきた。一番楽しかったことは二日目のカヌー体験です。カヌーは長島ダムに出来た接祖湖に行きました。いろいろなカヌーに乗ることが出来ました。その中で一番

楽しかったのが立って乗るサップです。乗るところが広くて、漕ぐ時は最初に膝立ちで乗って慣れてきたら立って乗りました。すごく早くてまっすぐに進んでとても乗りやすく楽しかったです。一番むずかしかったのが競技用カヌーでした。バランスが取りづらくてすぐに落ちてしまい、とってもむずかしかったです。ぼくはキャンプでのカヌー体験がとても楽しかったので、もっとカヌーを体験したいと思いました。



団キャンプ

浜松地区 浜松第 11 団カブ隊 渡邊希乃奏

8 月 23 日から 25 日まで、あいち県田原市のえひま野外活動センターに 2 日 3 日の団キャンプにさんかしました。キャンプでは、釣り、海水よく、キャンプファイヤー、まが玉作りなど色いろな事をけいけんしました。中でも、わたしが楽しかった事は海水よくと、ネイチャーゲームです。はじめての海水よくは波ののっておよぐれん習をしていたら、口の中に海水が入ってとてもしょっぱかったです。ペットボトルやビニールぶくろを使って、水なんきゅうじょに何がやくにたつのかを学びました。ネイチャーゲームはたい長がえらんだ 7 しゅるいの葉と木の実をきおくして同じものを山にさがしに行きました。わたしは、形、色、さわりごち、くきからの葉っぱのはえ方をよく見るようにしました。大変でしたが、おもしろかったです。



つらかった富士登山

浜松東地区 浜松第 15 団 カブ隊 花村 星良

二回目の富士登山。前回は頭つうが出て六合目までしか行けませんでした。

今回の富士登山では、頂上というよりも、八合目あたりを目指していました。と中、頭がいたくなってしまうけれど、さんそをすったり、休けいたり、みんなで話をしながら、八合目まで登れました。そして、八合目を越えたあたりから、もしや頂上に行けるんじゃないか、と思い始めました。がんばって登って、山頂まであと百五十メートルの所で、ひ

どい頭つうやはき気がしました。高山病でした。これ以上登れないので、下山になりました。山頂まであと少しだったので、やしかったです。でもみんなから、「がんばったね」と言われてうれしかったです。

次に登る時は、山頂を目指したいです。そのためには健康な体を作り、体力をつけたいです。

たいへんだったふじ登山

浜松東地区 浜松第 15 団 カブ隊 立石堅太郎

前からふじ山に登れるか心ばいしていました。7 月 28 日におきたら晴れていたのよかったです。7 月 28 日にいよいよふじ山に登りました。さいし

よから足がいたくなってきたけど岩で休んだりしたので登れました。お父さんがつえをかけたので登れたけどちょっとずつ登っていくと高山びょうになってしまいました。もっと登っていくとさむくなってきました。そして、うんのたい長が下山してしまいました。もうちょっといくとぼくの足がきれんをおこしたので、ぼくのお父さんと村田さんとぼくで下山しました。

下山しているとききゅうに気持ちがわるくなってきました。気持ちがわるいまま休みながらおっているとすごく気持ちがわるくなってしまいました。どんどんおりにいくと気持ちがわるいのもスッキリしました。高山びょうもどんどん下におりにいくとなおってきました。もうなおってきたのですぐに歩くことができるようになってきました。どんどんおりにいくほどすぐにおりにできるようになってきました。

そして、さらにおりにと前田たい長とカブの仲間と会ったのでいっしょにおりにいきました。またちょっと足がいたくなってきたけどすぐおりました。カブの仲間たちとちょっとずつ休けいしながらおりにいきました。やっとちゅう車じょうにつきました。たいへんだったけどまた登りたいです。楽しかったです。つぎに登るときは早ね早おき朝ごはんをしっかりと山頂まで登りたいです。



富士登山

浜松東地区 浜松第15団カブ隊 鈴木 颯真

ぼくは、7月27・28日にボーイスカウトで富士登山に行きました。7月27日の夜、家をでて団ハウスに集合してマイクロバスで富士山の5合目までいって、そこでかみんをしました。

7月28日朝5時山頂に向かって出発しました。5合目からでも雲は下に見えました。6合目についてから雲海がきれいで、新7合目では地上でみるより空がきれいでした。そして元祖7合目についてすこし休けいをしました。休けいのあと、元祖7合目を出て、8合目に向けて出発しました。8合目に向かっているとちゅう、頭がいたみ始めました。頭がいたかったけれど、8合目につくことができました。そしてなんとか9合目について、また休けいをして、出発しました。けれど9.5合目で頭のいたみがひどくなったので、くやしかったけどリタイアしました。

こんどいくときは、頂上に行けるようにがんばりたいです。



山登り

富士宮地区 富士宮第9団カブ隊 倉本 歩子

その日はボーイスカウトで羽鮒山へ山登りがありました。毎日のように雨が降って涼しかったのがうのようにじめじめしていました。登りはじめると坂はどんどん急になっていき、その上暑くなってきました。本当の頂上は「ここが?」という感じで少しがっかりしました。けれど、登っていくと景色が変わって、上に行くほどきれいになりました。写真はとれなかったけど、きれいな景色を見ることが出来ただけでも良かったです。



キャンプ in 渚園

浜松地区 浜松第19団ボーイ隊 岩淵 充



7月20日～21日の一泊二日で渚園へキャンプに行きました。これまでロープの縛り方が役に立ったのは、テントを張る時のトートラインヒッチや荷物を運ぶ時に崩れないように縛ることくらいでした。ところが今回は、流しそうめん台を作るのに大活躍です。はさみ縛りを先輩から教わり、やってみたところ思ったより簡単な縛り方で覚えやすかったです。縛っている最中に崩れ

ることがあり、本当にできるのか不安になりましたが、みんなと協力したせいかなんとか組み立て上がりました。いよいよ流しそうめん開始。僕は箸とめんつゆを持ち、先頭に立つことができました。おかげでいっぱいすくうことができました。他に、渚園が浜名湖の隣なので釣りもしました。エサの青イソメをつけるのが気持ち悪くて固まったのが僕を入れて三人いました。でもやらなければ釣りはできないと言われ、仕方なくつけました。大きなうなぎを釣って来いと言われていたのに何も皆釣れませんでした。いろいろあったキャンプでした。

上高地へ行って

伊東地区 伊東第2団ボーイ隊 坂本 光

私は先日、長野県西部の飛騨山脈南部にある「上高地」に行きました。

私は上高地でたくさん感動し、学ぶことが多かったです。

一つは、水の透明さです。伊東の川と違い、細かな砂などがなく、触ってみても、異物感が全くなかったです。

二つ目は、とても涼しかったことです。八月の平均気温は、約二十度とかなり涼しく、私も過ごしてみても涼しいと感じました。

三つめは、自然が豊かでした。大正池ならではの、木の生え方や種の増え方などを見ることができました。

私は、これらの経験を大切な思い出として覚えていきたいと思っています。ですが、私はそれと同時に、何らかの形で記録したいと思います。もしまた行く機会があったら、この記録を活用したいです。



初めての富士登山

志太地区 藤枝第1団ボーイ隊 古市 芽衣

8月3日4日に、ボーイスカウト隊の富士山プロジェクトで富士山に行きました。富士山は、3776mと知っていましたが、坂や、でこぼこ道が多いということは、知りませんでした。藤枝市から富士山を見るとすごくキレイですが、登山道を登ると、危険がたくさんありました。

8合目からは、きりが出てきて、急に寒くなりました。飲み物やトイレにお金がかかりました。足をつまづきそうになったり、ころんだり、登るのが大変だったけれど、体操をし、体をやわらかくして登りました。どんどん登っていくと、頭がいたくなりました。でも、がんばって、9合目に到着しました。

9合目は、私たちがとまる所です。景色は、最高でした。雲が下にあり、キレイでした。宿についたら、すぐ、夕食のカレーを食べました。つかれた後のカレーは、おいしかったです。そして、8時には、寝ました。翌日、夜中の1時に起きました。みんなは、ご来光を見るため、早起きします。そしていよいよ10合目を目指して出発です。

1時は、まだ暗く、流れ星が見えて、星がキラキラしていました。登っていく人のライトもキラキラしていました。頂上まではけっこうな距離がありました。たくさんの人が登っていたのでこんでいました。どんどん寒くなったので、隊長が「レインコートを着て。」と言ったので着ました。手が寒くなってきて、頭も痛かったです。

でも、空がだんだん明るくなってきて、頂上につきました。そして、やっとご来光を見ることができました。

ご来光は、とてもきれいで、真っ赤でした。そして、下山は無事に降りられ、帰れました。大成功でした。それは、団の協力があったからだだと思います。楽しかったです。ありがとうございました。



団のみんなと登った富士山

志太地区 藤枝第1団ボーイ隊 古市 虎白

令和元年8月3日から4日に、ボーイスカウト隊の富士登山プロジェクトを実行しました。ボーイスカウト4名、隊長とサポート2名 計7名の登山を行いました。

初の富士登山で楽しみにしていたことはご来光でした。それは、とてもうれしく、感激しました。けれど、それ以上に、心に残ったことがありました。それは、色々な人達が、ぼく達に声をかけてくれたことです。

まだ5合目を登り始めてすぐに、下山してくるおじさん達が「がんばって!!」と声をかけてくれ、「ありがとうございます!!」とあいさつをすると、やる

気が増してきました。

そして、体も呼吸も苦しくなってきた7合目で、日本語もあまりしゃべれない、外国人のカップルが「ガンバッテネ」と応援してくれました。日常であまり関わることのない外国の方に声をかけてもらい、まるでハリウッドスターにやさしくされたように、うれしくて、つかれもふっ飛びました。そんなパワーをもらいついにスカウト全員で山頂の朝日を見ました。想像以上に感動しました。

いよいよ下山です。下山は、思った以上にキツイです。上りとはちがう筋肉を使います。下るほどに気温も上がってきました。その時いかにも登山のプロみたいな人が「ストックは、もう少し長くした方がいいよ。」と教えてくれました。上り下りでは、長さを変えた方がいいことを知りました。言われた通り調節をしたら本当に楽になり、前の人を追いこすほど快調になりました。

富士山で学んだ事は、同じ目的をもった者同士は、すぐに仲間になれるということです。次は教わるばかりでなく、教えてあげられるようになりたいです。これからは、いろんな目標をもった仲間と出会えることが、楽しみになりました。こんな体験をさせてくれた隊長や、団の人達ありがとうございました。

富士登山の感想

志太地区 藤枝第 1 団ボーイ隊 八尾 哲平

令和元年 8 月 3 日から 4 日にかけて藤枝第 1 団 6 団ボーイスカウト隊の富士登山プロジェクトを実行しました。ボーイスカウト 4 名、隊長とサポート 2 名計 7 名の登山になりました。

私にとっての富士登山は、大自然に身を任せて、ひたすら頂上を目指して登り続ける試練でした。頭上からは照り付ける太陽の光を浴びて、六合目からは、崖の上を登る様に、重い荷物を背負いながら、四つん這いになり、必死に登りました。登りながら眼下を見ると雲の上に自分がある事に気がきました。山の天気は一瞬にして変わり、霧の中に入った時には、疲れた体が「スーッ」と軽くなり、適度な水分が体を生き返らせてくれました。

九合目の山小屋に到着した時は安心しました。「頂上まであともう少し！」と気合が入りました。山小屋では寝返りも出来ない状態で、まっすぐになって寝ました。午前一時に目が覚めました。外は暗い真冬の寒さです。空には細かなガラスの破片を散りばめた様にキラキラと星が輝いておりました。「すげえ〜」と叫ぶほど美しい！昨日の昼とは全く違った宇宙空間です。まるで夢を見ている気分でした。山頂へと向かいましたら途中で行列が出来、到着まで 3 時間かかりました。

皆で無事に山頂に着いた時には、「本当によかった」

と思いました。御来光も、はっきりと見えました。霧が立ち始める中にオレンジ色の光が徐々に広がり、その中を濃厚なオレンジ色であるお日様が上がって来るのが分かりました。清々しい朝を迎えることができました。

暫くの間山頂で楽しんだ後、三百円支払ってトイレを済ませ、集合しました。トイレが一回三百円のお金が掛かることに驚きましたが富士を守っていくには仕方ないと思います。

午前七時頃から下山しましたが帰日も混雑しており、かなり予定時間を過ぎてしまいましたが、皆が無事に下山出来た事が一番！と思いました。今回の富士登山を経験して、富士山が世界の宝物であることが分かりました。登山中にも何度か外国人のグループを見掛けましたが、とにかく登山者が多いのには驚きました。私は、日本人として「大自然である富士山を守って行きたい」と心から思いました。こんなに素晴らしい体験が出来たのは伊藤隊長を始め参加者の協力があったからです。本当にありがとうございました。



指導者だより

夏季キャンプについて

磐田 4 団 B S 隊長 宮脇 一憲

8 月 10 日から 12 日、浜松市天竜区上阿多古長澤会館にて夏季キャンプを行いました。当初からスカウトの参加人数が厳しく、キャンプの実施も危い状況でしたがベンチャー 2 名、ボーイ 1 名、他各リーダー・団委員・御父兄のご協力を頂き、より良いキャンプとなりました。スカウト一人一人に目が届き、不安の少ないものとなり、また OB スカウトも顔を出してくれてとても嬉しく感じました。ただ隊長の私が仕事上、フルに参加出来ず大いに反省しております。副長・隊付リーダー・団委員の皆様には大変感謝しております。今後の活



動においてボーイ隊・ベンチャー隊共に少数精鋭で中身の濃い活動をスカウトの参加し易い日、時間帯を掌握して活動していきたいと思えます。学校生活・普段の生活では経験出来ないことを活動で知ってもらい、今後もボーイスカウトをやって良かったなと感じてもらえるよう努めていきたいです。

富士山の自然林を守るプログラム

御殿場小山地区副コミッショナー 勝俣 竜哉

御殿場小山地区では、毎年夏に地区行事として富士山の自然環境を守るプログラムに取り組んでいます。地元の NPO 法人「富士山の森を守るホシガラスの会」様の指導を受け、当初は御殿場口登山道の新 5 合目周辺において外来植物の抜根を行ってききましたが、今年は自然林を守るお手伝いという新たなミッションに取り組みました。場所は、往時の須山登山道を今に伝える須山口下山歩道の須山胎内に程近い標高約 1,400m の国有林。310 年余り前の宝永噴



火で一度失われた植生が自然に回復した広葉樹と針葉樹の混交林で、一見すると豊かな森なのですが増加の一途をたどるシカによって樹皮や低い場所の枝葉は食いぢられた木が点在し、下草やこぼれ落ちた実から成長した新芽は食い尽くされている状態。ホシガラスの会様から、この森の成り立ちとシカの関係についてレクチャーを受けながら、

総勢 20 名余りで食害にあった樹木の根元から幹へネットを掛けて、更なる食害を防ぐ作業を行いました。今回の作業を機会に、地区ベンチャーはホシガラスの会様と連携した活動を今後計画しており、御厨地方に根差した地域から一目置かれる組織として活動を続けたいと思います。

ボーイ隊へ上進したスカウト

沼駿地区 沼津第 16 団 カブ隊 隊長 西山 考司

我が団では、ボーイ隊への上進にはセーラー渡りが伝統的に続いている。自団での活動しか知らない時には、当然のことだと思っていたので、我が団で育ったスカウト達はビーバーでもカブでもボーイの上進式を見学するため疑問に思ったことは無いだろう。そして今年も 1 名ボーイへ上進した。彼はビーバーから活動をはじめビックビーバー、りす、うさぎ、しか、くまを経験。決して活発な子供ではなかったが、落ち着きがありユーモアにあふれていた。そんな彼がセーラー渡りを笑顔で乗り切り、ちかいの式を経て晴れてボーイ隊で上進した。

《ボーイ隊長によるインタビュー》

『上進式を終えて今までカブスカウトだったのがボーイに変わり、緊張もあるけれど、頑張っていきたいと思えます。上進式ではロープ渡りをやり、けっこう大変でしたが、渡り切ってみると楽しかったです。特に体の中心を考えて

バランスを取るのが大変でしたが、片側に重みかけるのではなく全身に重みを掛けるのがコツだとわかりそれでうまくいきました。周りの様子も見えていました。ちかいの式をやりましたが、ちかいの中で自分が一番大事にしたいのは、「いつも他の人々を助けます」ということです。いつも困っている人を助けたいです。そうすると相手も良くなるし自分もいい気持ちになるからです。ボーイ隊になって一番頑張りたいのはキャンプです。テントは立てたことがないけれど、キャンプで一番気になるのは、団体が協力して、活動に生かすところです。他のところでも、ボーイスカウトの活動の中では団結力を大切にしたいです。』

彼が 4 年間のボーイ隊を経験し、ベンチャー隊に上進してくるのが楽しみで仕方ない。



友情章

おめでとう!! 25 名の仲間が友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友達に「スカウトになろうよ!」と言って、友達がスカウトに入るともらえる章です。

記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

令和元年 8 月度「友情章」顕彰者名簿

組織拡充・広報委員会

氏名	地区	所属	氏名	地区	所属
井出 博基	沼 駿	沼津第 4 団 B S 隊	東 泰生	富 士	富士第 4 団 C S 隊
下島 瑠華	沼 駿	沼津第 4 団 BVS 隊	久保田華生	富 士	富士第 4 団 BVS 隊
松村 爽平	浜松東	浜松第 30 団 C S 隊	田 淵 巴菜	富 士	富士第 11 団 BVS 隊
上村 実穂	浜松東	浜松第 30 団 BVS 隊	高田 華帆	静 岡	静岡第 27 団 C S 隊
小林 琉希	富士宮	富士宮第 5 団 BVS 隊	青山 歩睦	静 岡	静岡第 27 団 C S 隊
小林 壱都	富士宮	富士宮第 5 団 BVS 隊	高橋 新	浜 松	浜松第 12 団 BVS 隊
近藤ひかる	静 岡	静岡第 7 団 C S 隊	丸崎 風花	磐 田	磐田第 6 団 BVS 隊
近藤 聡亮	静 岡	静岡第 7 団 BVS 隊	宮本 彩加	磐 田	磐田第 6 団 BVS 隊
佐藤 孝介	浜松東	天竜第 1 団 B S 隊	梅原 恵	磐 田	磐田第 6 団 BVS 隊
鈴木 心	磐 田	豊田第 2 団 C S 隊	三戸 柚果	三 島	三島第 5 団 C S 隊
鈴木 絢斗	磐 田	豊田第 2 団 C S 隊	江川 達哉	三 島	三島第 5 団 B S 隊
長谷川 翔	富 士	富士第 4 団 BVS 隊	宇野レイナ	富 士	富士第 8 団 C S 隊
望月 大悟	富 士	富士第 4 団 BVS 隊			

おしらせコーナー

《県連定型訓練》

ボーイスカウト講習会静岡第604期

- 日 時: 令和元年11月24日(日) ●場 所: 浜松市立青少年の家
- 申込み: 11月1日(金)まで

《県連定型外訓練》

「スカウトソングを隊活動で歌おう!」

- 日 時: 令和元年11月23日(土)～11月24日(日)
- 場 所: 静岡県立三ヶ日青年の家
- 参加対象: 団指導者 ●申込み: 令和元年10月31日(木)まで

《第3回 ボーイスカウト東海4県連盟合同野営大会》

「東海4県連盟合同野営大会(3TC)参加者申込受付中」

- 期 間: 2020年8月7日(金)～8月12日(水)
- 場 所: 岐阜県日和田高原
- 申込み: 参加予定申込書「スカウト用」「指導者用」と団総括表を作成、地区で取り纏め地区総括表を添えて県連盟に11月末までに提出願います。
- 参加費: 1名22,000円。予納金1名5,000円は12月13日(金)までに県連盟に送金のこと。残金17,000円は4月24日確定申込書と一緒に送金下さい。詳細は県連盟ホームページ3TCコーナーに掲載しています。

ボーイスカウトへのお問い合わせ・入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局 (☎ 054-255-6185) まで

ホームページもご覧ください。 <http://bs-shizuoka.com>

編 集 日 記

今年の夏も24回世界ジャンボリー、各隊の野営訓練等、有意義な体験を通してたくさんの思い出が生まれました。

今回も各地区から多数の活動報告が寄せられました。今後も皆様と情報を共有していきたいと思ひます。

取材依頼、様々なご意見などございましたら県連事務局までお問い合わせ下さい。

広報「たちばな」編集部 杉山 文朗

広 報 “たちばな” 2019年10月

発 行 所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町 1-70-1
県青少年会館内
TEL054-255-6185 FAX054-255-6186
<http://bs-shizuoka.com>

編集責任者 組織拡充・広報委員長 川島 一郎

印 刷 三富印刷株式会社
静岡県浜松市東区上新屋町 30-1 TEL053-467-4678

発行部数 4,530部